



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 藤倉コンポジット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5121 URL https://www.fujikuracomposites.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 植松 克夫 (TEL) 03-3527-8111  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	33,438	△1.5	965	△57.3	1,003	△58.8	778	△55.2
2018年3月期	33,958	7.4	2,259	30.1	2,433	35.0	1,739	37.0

(注) 包括利益 2019年3月期 123百万円(△93.6%) 2018年3月期 1,926百万円(76.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	33.28	—	3.1	2.8	2.9
2018年3月期	74.34	—	6.9	6.7	6.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	36,022	25,142	69.8	1,074.63
2018年3月期	36,392	25,346	69.6	1,083.35

(参考) 自己資本 2019年3月期 25,142百万円 2018年3月期 25,346百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,310	△1,727	168	5,188
2018年3月期	2,746	△2,332	1,068	5,601

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	327	18.8	1.3
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	327	42.1	1.3
2020年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00		29.8	

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,200	4.0	700	△15.0	700	△29.5	600	△25.3	25.64
通 期	35,900	7.4	1,500	55.4	1,400	39.6	1,100	41.3	47.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	23,446,209株	2018年3月期	23,446,209株
② 期末自己株式数	2019年3月期	49,354株	2018年3月期	49,350株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	23,396,858株	2018年3月期	23,396,933株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	21,796	△2.3	263	△80.2	779	△48.9	697	△38.7
2018年3月期	22,309	6.9	1,331	63.8	1,524	3.1	1,137	△8.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期	29.80		—					
2018年3月期	48.60		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	29,340	20,080	68.4	858.25
2018年3月期	29,262	19,885	68.0	849.92

(参考) 自己資本 2019年3月期 20,080百万円 2018年3月期 19,885百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費について緩やかな回復基調で推移しました。しかし、英国のEU離脱交渉の不確実性や、米中の貿易摩擦による海外経済の不安から景気の先行きについては、不透明な状況が続いております。

当社グループでは、2019年4月1日に「藤倉コンポジット株式会社（英文：FUJIKURA COMPOSITES Inc.）」に商号変更いたしました。当社の創業者である藤倉の名前を引き継ぎ、また今後も当社の複合化（コンポジット）技術を生かし、ゴムだけにとらわれない新しい製品分野に積極的に進出していくことを、この社名にこめて邁進していきます。

また、2018年7月26日開催の取締役会において、原町工場（福島県南相馬市）の敷地内に工場建屋を新設することを決議いたしました。今後医療用ゴム製品などの生産拡大、および管理部門の集約に伴う作業効率の改善を図ってまいります。さらに、小型でパーソナルユースに利用できる非常用モバイル充電器『アクアチャージ』を2019年5月29日（予定）に発売するなど、新製品開発にも積極的に取り組んでおります。

このような状況のもと、当連結会計年度の売上高は334億3千8百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は9億6千5百万円（前年同期比57.3%減）、経常利益は10億3百万円（前年同期比58.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億7千8百万円（前年同期比55.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <産業用資材>

工業用品部門は、国内においては自動車、住宅機器、設備投資関連など総じて好調だったものの、海外において北米の自動車部品メーカーの在庫調整や中国市場の減速の影響を受けたことに加え、材料費、運賃が上昇したため減益となりました。制御機器部門は、液晶・半導体関連メーカーの設備投資が減速、さらに産業機械メーカーも低調となった影響を受け減益となりました。電気材料部門は、インフラ工事用部材、非常用マグネシウム空気電池『WattSatt』の受注が順調に推移し、増益となりました。

この結果、売上高は212億5千4百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は5億9千5百万円（前年同期比59.4%減）となりました。

#### <引布加工品>

引布部門は、高耐熱ゴムシート、電気電子製品向けゴムシートは好調に推移したものの、自動車市場が低迷し減益となりました。印刷材料部門は、新製品を投入し拡販に努めましたが、国内外ともに見通しどおりの受注を確保出来ず、減益となりました。加工品部門は、国内外において舶用品が好調で増益となりました。

この結果、売上高は54億6百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は2億1千8百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

#### <スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、2018年8月に発売した『Speeder EVOLUTION V』などのシャフトが多くのプロゴルファーに使用され、ゴルフクラブメーカーにも広く採用されておりますが、一部ゴルフクラブメーカーの発売が遅れたことにより減益となりました。アウトドア用品部門は、キャラバンシューズやJack Wolfskinなどの主力商品が下支えとなったものの、全体の需要が停滞したため減益となりました。

この結果、売上高は63億9千7百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は5億9千6百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

#### <その他>

物流部門は、荷主の業績好調に後押しされ好調を維持し、増益となりました。

この結果、売上高は3億8千万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は7千5百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億6千9百万円減少の360億2千2百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億6千5百万円減少の108億7千9百万円となりました。純資産につきましては、251億4千2百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.6%から69.8%に上昇いたしました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における「現金及び現金同等物」（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ4億1千3百万円減少し（前年同期比7.4%減）、51億8千8百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は13億1千万円となりました。これは主に「税金等調整前当期純利益」を9億8千2百万円計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は17億2千7百万円となりました。これは主に「有形固定資産の取得による支出」12億3千9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1億6千8百万円となりました。これは主に借入金返済を進めた上で、新たに「長期借入れによる収入」を23億円計上したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	69.7	71.3	71.2	69.6	69.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	54.6	32.0	48.1	49.9	28.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.1	1.2	1.4	1.6	3.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	51.5	116.5	95.1	87.1	70.0

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済見通しについては、各国の保護主義的な動き等から、先行きの見通しが非常に困難な状況となっております。

当社グループの業績見通しとして、自動車関連部品が堅調に推移するものの、中国市場の動向については予断を許さない状況となっております。また、液晶・半導体分野においては回復が見込まれるものの、その時期について不透明な状況となっております。

このような厳しい状況下ではありますが、グループ各社で総力を挙げて収益改善に努め、2020年3月期の通期の連結業績予想は、売上高359億円、営業利益15億円、経常利益14億円、親会社株主に帰属する当期純利益は11億円を予想しております。なお、為替レートは1米ドル=105円を想定しております。

また、当社は、株主の皆様への利益還元について、中長期における事業の持続的な成長を支えるための原資として内部留保を確保した上で、配当性向、株主資本配当率など勘案しながら安定配当することを基本方針としております。

以上のことから、2020年3月期の配当については、1株当たり14円（中間7円、期末7円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,601,571	5,188,487
受取手形及び売掛金	10,175,191	10,310,592
商品及び製品	2,308,578	2,183,356
仕掛品	2,210,322	2,435,667
原材料及び貯蔵品	780,280	842,666
その他	644,986	693,135
貸倒引当金	△26,689	△27,593
流動資産合計	21,694,240	21,626,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,465,904	11,321,326
減価償却累計額	△6,353,688	△6,596,385
建物及び構築物（純額）	5,112,216	4,724,941
機械装置及び運搬具	17,398,178	17,563,693
減価償却累計額	△14,365,934	△14,379,859
機械装置及び運搬具（純額）	3,032,244	3,183,833
土地	3,182,345	3,216,467
建設仮勘定	786,583	522,275
その他	3,526,084	3,811,298
減価償却累計額	△3,138,412	△3,240,029
その他（純額）	387,672	571,268
有形固定資産合計	12,501,061	12,218,787
無形固定資産		
ソフトウェア	135,650	131,224
その他	207,734	195,294
無形固定資産合計	343,384	326,518
投資その他の資産		
投資有価証券	1,248,716	1,003,726
長期貸付金	91,529	202,243
繰延税金資産	24,535	17,719
その他	535,628	672,353
貸倒引当金	△46,521	△44,945
投資その他の資産合計	1,853,889	1,851,098
固定資産合計	14,698,335	14,396,403
資産合計	36,392,576	36,022,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,618,780	2,571,247
短期借入金	3,184,585	2,674,100
未払法人税等	292,104	30,069
賞与引当金	440,004	473,313
その他	1,583,415	1,290,989
流動負債合計	8,118,889	7,039,719
固定負債		
長期借入金	1,290,000	2,345,000
繰延税金負債	333,253	265,634
環境対策引当金	29,513	29,513
退職給付に係る負債	954,367	911,920
資産除去債務	176,947	149,949
その他	142,616	137,982
固定負債合計	2,926,697	3,840,000
負債合計	11,045,587	10,879,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	17,149,246	17,600,413
自己株式	△20,396	△20,398
株主資本合計	24,145,633	24,596,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436,694	262,096
為替換算調整勘定	977,402	452,516
退職給付に係る調整累計額	△212,742	△168,415
その他の包括利益累計額合計	1,201,354	546,197
純資産合計	25,346,988	25,142,996
負債純資産合計	36,392,576	36,022,716



## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
売上高	33,958,689	33,438,621
売上原価	25,246,706	25,622,428
売上総利益	8,711,982	7,816,193
販売費及び一般管理費		
荷造運送費	601,953	552,315
給料及び手当	2,286,383	2,290,851
福利厚生費	464,436	484,941
旅費及び通信費	340,610	373,808
減価償却費	136,612	150,176
保管賃借料	242,976	251,078
研究開発費	717,259	727,687
貸倒引当金繰入額	—	7,902
その他	1,662,454	2,012,200
販売費及び一般管理費合計	6,452,686	6,850,964
営業利益	2,259,295	965,228
営業外収益		
受取利息	11,033	11,658
受取配当金	53,792	54,094
為替差益	66,095	—
受取賃貸料	43,941	46,109
補助金収入	33,576	18,953
その他	103,933	93,865
営業外収益合計	312,373	224,682
営業外費用		
支払利息	31,527	18,708
為替差損	—	105,532
賃貸収入原価	15,816	11,038
固定資産除却損	14,019	14,948
貸倒引当金繰入額	16,553	—
その他	60,354	36,470
営業外費用合計	138,272	186,698
経常利益	2,433,397	1,003,213
特別利益		
投資有価証券売却益	4,785	—
補助金収入	—	11,733
特別利益合計	4,785	11,733
特別損失		
固定資産廃棄損	71,852	32,514
関係会社株式評価損	20,000	—
減損損失	78,078	—
特別損失合計	169,930	32,514
税金等調整前当期純利益	2,268,251	982,431
法人税、住民税及び事業税	521,704	215,341
法人税等調整額	7,270	△11,633
法人税等合計	528,975	203,708
当期純利益	1,739,276	778,723
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,739,276	778,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,510	△174,597
繰延ヘッジ損益	△202	—
為替換算調整勘定	69,385	△524,886
退職給付に係る調整額	73,592	44,327
その他の包括利益合計	187,285	△655,157
包括利益	1,926,561	123,566
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,926,561	123,566

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,804,298	3,212,485	15,737,528	△20,210	22,734,101
当期変動額					
剰余金の配当			△327,558		△327,558
親会社株主に帰属する当期純利益			1,739,276		1,739,276
自己株式の取得				△185	△185
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,411,717	△185	1,411,532
当期末残高	3,804,298	3,212,485	17,149,246	△20,396	24,145,633

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	392,183	202	908,017	△286,334	1,014,069	23,748,171
当期変動額						
剰余金の配当						△327,558
親会社株主に帰属する当期純利益						1,739,276
自己株式の取得						△185
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	44,510	△202	69,385	73,592	187,285	187,285
当期変動額合計	44,510	△202	69,385	73,592	187,285	1,598,817
当期末残高	436,694	—	977,402	△212,742	1,201,354	25,346,988

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,804,298	3,212,485	17,149,246	△20,396	24,145,633
当期変動額					
剰余金の配当			△327,556		△327,556
親会社株主に帰属する当期純利益			778,723		778,723
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	451,167	△2	451,165
当期末残高	3,804,298	3,212,485	17,600,413	△20,398	24,596,798

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	436,694	—	977,402	△212,742	1,201,354	25,346,988
当期変動額						
剰余金の配当						△327,556
親会社株主に帰属する当期純利益						778,723
自己株式の取得						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△174,597	—	△524,886	44,327	△655,157	△655,157
当期変動額合計	△174,597	—	△524,886	44,327	△655,157	△203,991
当期末残高	262,096	—	452,516	△168,415	546,197	25,142,996

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,268,251	982,431
減価償却費	1,276,678	1,356,253
減損損失	78,078	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20,028	146
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62,016	33,309
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	63,266	21,483
受取利息及び受取配当金	△64,826	△65,753
支払利息	31,527	18,708
為替差損益 (△は益)	16,310	80,000
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,785	—
関係会社株式評価損	20,000	—
固定資産除却損	14,019	14,948
売上債権の増減額 (△は増加)	△586,330	△307,492
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△376,073	△225,871
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,720	△47,826
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,034	59,377
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	188,529	△134,934
その他	190,778	△100,918
小計	3,137,659	1,683,862
利息及び配当金の受取額	64,825	65,685
利息の支払額	△31,642	△18,753
法人税等の支払額	△424,387	△420,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,746,455	1,310,342
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,058,526	△1,239,780
無形固定資産の取得による支出	△47,755	△58,819
投資有価証券の取得による支出	△158	△185
投資有価証券の売却による収入	11,141	—
その他の投資による支出	△235,360	△321,341
その他の投資の回収による収入	51,762	15,428
貸付けによる支出	△146,870	△128,350
貸付金の回収による収入	93,233	5,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,332,533	△1,727,614
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△334,788	△1,011,110
長期借入れによる収入	1,800,000	2,300,000
長期借入金の返済による支出	△45,000	△765,000
自己株式の取得による支出	△185	△2
配当金の支払額	△328,261	△327,435
リース債務の返済による支出	△22,909	△28,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,068,855	168,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,575	△164,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,516,353	△413,083
現金及び現金同等物の期首残高	4,085,217	5,601,571
現金及び現金同等物の期末残高	5,601,571	5,188,487

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

### 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの報告セグメントの区分方法は、製造方法・製造過程並びに使用目的及び販売方法の類似性を考慮して区分しており、「産業用資材」、「引布加工品」、「スポーツ用品」及び「その他」の4つを報告セグメントとしております。

「産業用資材」は、工業用精密ゴム部品、空圧制御機器、電気絶縁材料及び電気接続材料等を製造販売しております。「引布加工品」は、印刷用ブランケット、各種加工品及び各種ゴム引布を製造販売しております。「スポーツ用品」は、ゴルフ用カーボンシャフトの製造販売及びシューズ、ウェアなどのアウトドア用品の販売をしております。「その他」は、物品の輸送及び保管サービスをしております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計方針に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

### 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	産業用資材	引布加工品	スポーツ用品	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	21,811,974	5,012,842	6,769,334	364,536	33,958,689
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	122,132	122,132
計	21,811,974	5,012,842	6,769,334	486,668	34,080,821
セグメント利益	1,464,662	247,039	989,722	75,081	2,776,506
セグメント資産	21,699,127	3,971,667	4,805,018	302,346	30,778,160
その他の項目					
減価償却費	971,915	130,118	99,025	14,426	1,215,485
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,639,769	192,499	102,478	31,828	2,966,575

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	産業用資材	引布加工品	スポーツ用品	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	21,254,812	5,406,254	6,397,436	380,117	33,438,621
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	115,409	115,409
計	21,254,812	5,406,254	6,397,436	495,527	33,554,031
セグメント利益	595,306	218,807	596,541	75,749	1,486,405
セグメント資産	21,534,000	4,136,801	4,910,683	284,021	30,865,505
その他の項目					
減価償却費	1,033,624	135,879	105,733	24,119	1,299,357
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,209,049	124,754	95,459	20,776	1,450,039

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,776,506	1,486,405
セグメント間取引消去	511	427
全社費用(注)	△517,722	△521,604
連結財務諸表の営業利益	2,259,295	965,228

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	30,778,160	30,865,505
セグメント間取引消去	△480,981	△478,416
全社資産(注)	6,291,757	5,635,627
連結財務諸表の資産合計	36,588,935	36,022,716

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地建物であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費(注1)	1,215,485	1,299,357	61,193	56,896	1,276,678	1,356,253
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額(注2)	2,966,575	1,450,039	88,148	127,821	3,054,724	1,577,861

(注) 1 減価償却費の調整額は、主に当社の建物及び機械装置の減価償却費であります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に当社の建物及び機械装置の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,083円35銭	1,074円63銭
1株当たり当期純利益	74円34銭	33円28銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,739,276	778,723
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(千円)	1,739,276	778,723
期中平均株式数(株)	23,396,933	23,396,858

(重要な後発事象)

該当事項はありません。